

編集方針

1 「付けたい力」の明確化について

子どもたちの学習の実態を把握し、身に付いている力やまだ身に付いていない力を明らかにしていく過程では、部分的な視点の議論にならないよう留意したい。「読むこと」で育成すべき能力の全体を捉え、実態を通してどのような力を付ける必要があるかを究明していくことで、付けたい力を育成するにふさわしい言語活動へと実践の方向性が見えてくる。

その際には、本会の資料として「国語学力診断検査項目一覧（読む力）※令和元年改訂」などを参考にし、必要に応じて各部会で研究の成果を新たに追加していただきたい。

2 活用しやすい紀要を目指す

素晴らしい実践をし、子どもたちの国語の力を伸ばす工夫を多く研究していたとしても、読まれた先生方の役に立たなくては意味がないと考える。研究紀要は「こうすれば所期の力が身に付く」という方法を多くの先生方に広めるために作成している。国語教育に専門的に携わることのない教員が読んでも、その内容が十分に理解・納得される表現で、それぞれの学校ですぐに実践できるような記述をお願いしたい。

3 参考文献の提示

国語科教育に関する辞典や先行実践、他団体の研究紀要、その他の教育書等できるだけ多くの文献に当たり、「理論に基づく実践」を大切にする本会でありたい。例えば「付けたい力」の分析においても多くの文献がある。研究紀要は、県内すべての各校に配布され啓発されていく。その意義を考えれば、経験と勘のみに頼る研究は甚だ心許ない。多忙を極め、限られた時間ではあるが、本会研究委員の実践力を高め、その力を奈良県全体に広げるためにも、参考文献を提示し紀要に記載していきたい。

研究紀要全体のページ割り

※数字はA4を1枚としたときのページ数。①、②、⑨、⑩はページとしてはカウントしない。また、扉についてはページをカウントするが、ページ番号は打たない。

①はじめに	…… 1 → 稲浦会長
②目次	…… 1 → 事務局
③研究計画	…… 6 [扉（間紙） 2 頁 + 4 頁] → 事務局
④研究結果 ～小学校 低学年部会編～	…… 2 [扉（間紙）] → 事務局
I 研究に当たって（先行研究を含む）	…… 3（最大） → 指導・幹事
II 主題に迫る実践事例	…… 15～20（最大） → 研究委員
III 研究の総括	…… 1 → 指導・幹事
⑤研究結果 ～小学校 中学年部会編～	…… 2 [扉（間紙）] → 事務局
I 研究に当たって（先行研究を含む）	…… 3（最大） → 指導・幹事
II 主題に迫る実践事例	…… 15～20（最大） → 研究委員
III 研究の総括	…… 1 → 指導・幹事

⑥研究結果 ～小学校 高学年部会編～	…… 2 [扉 (間紙)] →事務局	
I 研究に当たって (先行研究を含む)	…… 3 (最大) →指導・幹事	
II 主題に迫る実践事例	……15～20 (最大) →研究委員	
III 研究の総括	…… 1 →指導・幹事	
⑦研究結果 ～中学校部会編～	…… 2 [扉 (間紙)] →事務局	
I 研究に当たって (先行研究を含む)	…… 3 (最大) →指導・幹事	
II 主題に迫る実践事例	……15～20 (最大) →研究委員	
III 研究の総括	…… 1 →指導・幹事	
⑧資料	…… 2 [扉 (間紙)] →事務局	
I 参考・引用文献	…… 1 →事務局	
II 本年度の研究集録で取り上げた教材	…… 1 →事務局	
⑨奥付 (研究委員名簿等)	…… 1 →事務局	最大 117 ページ

執筆上の注意

ア 原稿は A4 版横書きとし、共通書式として、上側と左右の余白を 20 mm、下側の余白を 25 mm設ける。ワークシートや児童の作品例を掲載する場合は、特に上記の余白が確保されるように気を付ける。1 ページあたりの字数、行数は、42 字×43 行とし、見出しや強調する場合を除き、本文は 10.5 ポイント・MS 明朝とする。(下記、プロット参照)。また、ページは印字しない。

イ 先行実践や引用文献は明記する。

ウ 校正は部会内で責任をもって行う。予定は下記を参照のこと。

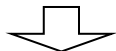
エ 原稿提出の際は、データとプリントアウトしたものの双方を提出する。

- ① 部会幹事 (指導) に最終原稿を提出…10/8 (金) 厳守



- ② 事務局に原稿を提出…10/14 (木) 厳守

※幹事 (指導) の先生は、原稿の裏に鉛筆で通し番号を打っておいてください。



- ② 事務局、原稿最終チェック…10/16 (土)



- ③ 印刷所に入稿…10/18 (月)



- ④ 紀要印刷完了…10/25 (月)



- ⑤ 指導、幹事、発表者に紀要送付…10/29 (金) 頃

秋季研究大会

11/5 (金)

於：曾爾村立曾爾小中学校

※午後からの半日開催